

門司中学校 実践交流会

分散会 第2ブース

技術・家庭科 第1学年

単元名

「 献立作りと食品の選択 」

授業のねらい

○必要な栄養素を満たす1日分の献立を考えることができる。

ICT機器の活用場面



○朝食, 昼食, 夕食をタブレットに入力し, 自分の食べたものを確認する。

○三食のグラフの数値を見て, 自分の食生活の中でとりすぎている食材, 足りない食材を知ることができる。また, 足りない食材を見てどのようなものをプラスすればバランスが取れるかシュミレーションしてみる。

生徒の反応

- 身近なテーマで、意欲的に自分の生活への振り返りができ、タブレットPCでは記入・消去が簡単にできるので、考えるきっかけになった。
- 画面から次々に課題が提示されることにより、関心も高まり、積極的に授業に参加出来た。
- 最後に自分の食べたものを1つずつ画面で確認したことで、他の人の食生活を見ることで、自分の健康について考えている人、そうでない人の違いを知ることができた。

成果と課題

<成果>

○タブレットPCに入力し、自分の食生活の振り返りだけでなく、他の人がどのような食生活を送っているかを知ることによって、食に対する興味・関心が高まった。

○ノートに1週間分、1日分の食生活を記入する宿題を通して、自分の宿題が即時に画面に映し出して全体で比較・共有できるという点で時間の無駄がないこと、また、生徒は自分の日常生活の中で食べることは当たり前になっていて、振り返ることなどなかったことが、画面に映し出されるということで興味深く食について考えることができた。達話し合いの活動をする場面で、他者の意見と比較・共有できることでタブレットPCは効果的だと思う。